

持合したるに、其後難儀成り、此を能く出得る名主屋
長百姓、其後、話村中より少死あり、合し難儀村、合ふ
貸出たり、成る名主長百姓、隨分、情事

一朝、食物乏しく、通ふは、い、酒、酒、類、貴
屋、火、熱、い、貴、酒、類、情、事、右、通、左、
可、お、編、合、救、り、休、者、有、り、名、主、屋、不、隨、分、無、油
割、遂、以、味、之、後、後、日、御、成、成、支、配、不、可、也

子十二月

大坂大火の事

享保九年辰三月廿日午刻大坂城江橋通三丁目金屋敷を焼
借家全座妙知より出火同三日前朝迄火大坂并天満類火

一 大坂三右所敷二百四十
内四百八丁焼矣

(大坂三百七拾八丁
天満七拾丁)

一 家數千七百二十九軒

(大坂千七百四拾七軒
天満三百十八軒)

一 竈數万貳百九拾貳軒

(大坂万二千八百九拾九軒
天満万三千四百二十三軒)

一 亡儀千九拾七新

(大坂七百七拾九新
天満三百拾八新)

一 溪納屋千五百拾四軒

(大坂五百拾四軒
天滿七拾九軒)

一 橋數六拾三ヶ所

同七ヶ所 御公儀橋

四拾二ヶ所 町橋

難波橋

天滿橋

天神橋

高藤橋

平野橋

農人橋

日本橋

一 尾張御言橋

御屋敷一ヶ所

一 紀伊御言橋

御屋敷一ヶ所

一 御大名御言橋 御屋敷及御屋敷中元由屋敷三拾二ヶ所

松平淺之町屋

上中ノ橋

松平大炊頭殿

天滿御屋敷

菰堂和泉守殿

天滿御屋敷

松平源政守殿

上中ノ橋
堂治新地丁目

松平丹後守殿

同十二丁目

有馬玄蕃守殿

豊人橋
橋本町

松平右京右衛門殿

上中ノ橋

松平主殿頭殿

上中ノ橋
橋本町

松平遠江守殿

天滿十二丁目

本多中務守殿

上中ノ橋

中川内膳正殿

上中ノ橋

殿 越中守殿

同

渡辺備中守殿

系橋丁目

伊達和泉守殿

堂治新地丁目

小室系依波守殿

言津兼町

秋元伊賀守殿

化後橋町

上屋佃馬守殿

南尾町

宗 對馬守殿

天滿十二丁目

豊洲兵衛守殿

天滿十二丁目

毛利周防守殿

同

津村古作寺殿

天保十一年

石川三殿頭殿

同

小堀備中寺殿

同格寺町

濁河地蔵寺殿

堂内新比
二十日

池田内膳殿

天保川町

山崎寺屋頭殿

寺内

前田権佐殿

同格寺町

松平三次郎殿

天保
川町

舟越宗右衛門殿

同格寺町
三十日

西中願寺津村御堂兼真照寺御堂

寺内七百八人焼死

一向宗道場

百七ヶ所

仔細慶光家浦寺系

神社

八ヶ所

寺

武拾七ヶ所

一 米拾壹万千七百石余

一 麦八千八百八十石余

一 大豆壹万二千九百石余

一 右言小町方古藏倉焼失寺外も俵数不知

一 米拾二万石余

一 右小津大倉極方古蔵倉焼失

一 焼死 七、八百人

一 右小焼寺もこれ形も見へず

一 馬 武七

同寺是小松平遠江守様

大坂火燒後
尼寺殿之
江家寺八人焼死

一 御城代酒井淡波が松平に下金を返す事

但山門中より残り

一 同山家中屋敷式形残り

一 御城番松平大藏少輔松平に下金を返す事

一 同山家中屋敷式形

一 町奉行松平左衛門尉松平孫右衛門

一 同山奥の町奉行 但川崎東側寺内儀は馬の残り
西側は右田村の馬大西儀は馬の残り

一 同山町奉行の家紋二拾形残り

一 山屋敷

一 本町漢御藏不残り 但徳田屋敷の御藏は松平の御藏に成り
松平の御藏は徳田の御藏に成り

一 川崎屋敷不残り

一 御代官屋敷久下右十郎殿

一 三右衛門屋敷不残り

一 三右衛門屋敷不残り

諸役人屋敷不残り

一 御彼損奉行 窪田又右衛門殿

一 同 窪田惣十郎殿

一 御浪奉行 戸田忠多侍殿

一 御弓奉行 吉本甚四郎殿

一 同 小笠原藏人殿

一 御旗炮奉切

石野丸橋門版

一同

版跡源又郎版

一 御藏奉切

筒井主膳版

一同

加茂安左衛門版

一 御先舟

十艘

一 上舟舟

十艘

一 茶船

六艘

一 砂船

六艘

一 七船

武艘

一 通書廻船

数船

一 穴藏多く火入山得と改メ多ク

一 二石惣年より十四人以内川崎屋之書産度全仁書場残

一 道行堀芝居文形

若手更産 津川万更産 嵐三居更産
出羽産 竹田産

但松崎若手舟在神山四郎之在能江在残り

一 傾城町石残

右名義ノ外此代官領焼言多く山得有安小記云小長柄所ノ
飛火ノ國分寺焼失ノ外近々飛火ノ界ノ御城代
酒井讃波と孫ノ三人中ノ一石出板ハ茶トト事

小ノ新地ノ人切ノ事